2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　　タカノ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7885　　ＵＲＬ　https://www.takano-net.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）鷹野　雅央
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）山本　幸康　　ＴＥＬ　0265-85-3150

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	12,106	13.0	191	106.6	285	64.7	194	56.7
2026年３月期中間期	10,713	10.9	92	－	173	－	124	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　615百万円（43.4%）　2026年３月期中間期　428百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	12.79	－
2026年３月期中間期	8.17	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	37,028	32,822	88.6	2,156.31
2026年３月期	37,934	32,511	85.7	2,135.90

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　32,822百万円　2026年３月期　32,511百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	20.00	20.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	0.8	1,000	18.8	1,100	10.0	730	18.5	47.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	15,721,000株	2026年３月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	499,420株	2026年３月期	499,420株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	15,221,580株	2026年３月期中間期	15,221,580株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日から2026年９月30日）におけるわが国経済は、設備投資拡大の動きが見られるなど、全体として景気は穏やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢影響やサプライチェーンの混乱など今後、景気を下押しするリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況において当社グループは、中長期的に成長が期待される半導体および医療分野向け製品の開発ならびに販売強化に努めるとともに、新しいオフィスのあり方に対応した製品開発に注力してまいりました。

この結果、主に住生活関連機器事業および検査計測機器事業の販売の増加により、当中間連結会計期間の売上高は12,106百万円で、前年同期比1,392百万円、13.0％の増収となりました。

利益面につきましては、増収にともなう粗利益額の増加および減価償却費等の固定費の減少等により、営業利益191百万円（前年同期比98百万円、106.6％の増益）、経常利益285百万円（前年同期比111百万円、64.7％の増益）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は194百万円（前年同期比70百万円、56.7％の増益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減率	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減率
住生活関連機器	5,208	6,318	21.3％	30	238	691.8％
検査計測機器	2,986	3,091	3.5％	123	△121	－％
産業機器	1,190	1,232	3.5％	△104	83	－％
エクステリア	572	593	3.7％	15	△18	－％
機械・工具	755	870	15.3％	23	0	△98.0％
報告セグメント計	10,713	12,106	13.0％	87	181	106.9％
セグメント間取引消去	－	－	－％	5	10	－％
合計	10,713	12,106	13.0％	92	191	106.6％

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司および株式会社ユーキ・トレーディングで構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子ならびにアレルギー検査システム(アレルギー検査装置および体外診断用検査薬)等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、働き方の変化に対応した新たなオフィスに適応したオフィス家具の開発・生産に注力するとともに、アレルギー検査製品の販売強化に努めてまいりました。

この結果、オフィス用椅子などのオフィス用家具製品の需要が好調であったことおよびアレルギー検査製品の販売が増加したこと等により、売上高は6,318百万円で前年同期比1,109百万円、21.3％の増収となりました。利益面では、増収にともなう粗利益額の増加等により、セグメント利益は238百万円（前年同期比208百万円、691.8％の増益）となりました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶や半導体・高機能フィルム用の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、設備投資需要の増加が期待される先端半導体パッケージ向け検査装置や電子部材向けフィルム検査装置の開発および販売強化に引き続き取り組んでまいりました。

この結果、ＦＰＤ向け検査装置およびフィルム向け検査装置の販売が増加したこと等により、売上高は3,091百万円で前年同期比105百万円、3.5％の増収となりました。一方、利益面では、ＦＰＤ向け検査装置の販売割合が高まったこと等により、セグメント損失121百万円（前年同期はセグメント利益123百万円）となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司（鷹野電子（深圳）有限公司含む）およびTakano of America Inc.で構成され、主に電磁アクチュエータならびにユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、中長期的には堅調な需要が期待される半導体関連向け電磁アクチュエータの開発および販売強化に取り組んでまいりました。

この結果、主に半導体関連向け製品の販売が増加したことにより、売上高は1,232百万円で前年同期比41百万円、3.5％の増収となりました。利益面では、増収にともなう粗利益額の増加および減価償却費等の固定費減少により、セグメント利益は83百万円（前年同期はセグメント損失104百万円）となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主にオーニング、パラソル、跳ね上げ式門扉、その他ガーデンエクステリア製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、店舗・集客施設におけるオーニング等の受注獲得に向けたプロモーションおよび営業活動に注力するとともに、販売体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は593百万円で前年同期比21百万円、3.7％の増収となりました。一方、利益面では、減価償却費および広告宣伝費等の固定費が増加したこと等により、セグメント損失18百万円（前年同期はセグメント利益15百万円）となりました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の需要掘り起こしに注力してまいりました。この結果、売上高は870百万円で前年同期比115百万円、15.3％の増収となりました。一方、セグメント利益は０百万円（前年同期比23百万円、98.0％の減益）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,287百万円減少の22,649百万円となりました。これは主に、電子記録債権が286百万円、商品及び製品が226百万円、売掛債権の回収が進んだこと等により現金及び預金が2,167百万円それぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が3,322百万円、有価証券が200百万円、仕掛品が432百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して380百万円増加の14,378百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が243百万円減少した一方、基幹システムの更新等により無形固定資産合計が224百万円、保有する有価証券の時価評価額の上昇により、投資有価証券が378百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における総資産は37,028百万円となり、前連結会計年度末と比較して906百万円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,167百万円減少の3,679百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払金が214百万円増加した一方、買掛金および電子記録債務の合計額が422百万円、未払法人税等が266百万円、賞与引当金が218百万円、検査計測装置の大口物件の売上計上により契約負債が393百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における負債合計は4,205百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,217百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して310百万円増加の32,822百万円となりました。これは主に、親会社による配当金の支払い等により利益剰余金が109百万円減少した一方、保有する有価証券の時価評価額の上昇により、その他有価証券評価差額金が399百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.7%から88.6%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の業績につきましては、2026年５月11日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,700,463	10,867,732
受取手形、売掛金及び契約資産	9,244,930	5,921,947
電子記録債権	500,095	786,358
有価証券	200,000	－
商品及び製品	850,678	1,077,201
仕掛品	2,529,902	2,097,335
原材料及び貯蔵品	1,769,455	1,722,679
その他	140,890	176,094
流動資産合計	23,936,416	22,649,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,707,481	2,603,753
機械装置及び運搬具（純額）	801,187	854,954
土地	4,504,197	4,504,236
その他（純額）	619,188	698,848
有形固定資産合計	8,632,054	8,661,793
無形固定資産	369,428	594,303
投資その他の資産		
投資有価証券	3,781,756	4,159,772
その他	1,217,961	965,980
貸倒引当金	△3,107	△3,107
投資その他の資産合計	4,996,610	5,122,645
固定資産合計	13,998,094	14,378,742
資産合計	37,934,510	37,028,093

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,467,003	1,252,827
電子記録債務	508,463	299,647
未払法人税等	319,445	53,141
契約負債	717,000	323,220
賞与引当金	633,428	414,976
製品保証引当金	20,237	45,541
受注損失引当金	22,096	68,863
資産除去債務	29,218	29,218
その他	1,129,637	1,192,020
流動負債合計	4,846,530	3,679,456
固定負債		
長期借入金	31,523	12,997
退職給付に係る負債	336,667	340,702
資産除去債務	6,839	8,489
その他	201,213	164,063
固定負債合計	576,243	526,253
負債合計	5,422,773	4,205,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,360,246	2,360,246
利益剰余金	26,780,297	26,670,620
自己株式	△259,302	△259,302
株主資本合計	30,897,140	30,787,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,126,122	1,525,691
為替換算調整勘定	340,836	378,792
退職給付に係る調整累計額	147,637	130,435
その他の包括利益累計額合計	1,614,595	2,034,919
純資産合計	32,511,736	32,822,383
負債純資産合計	37,934,510	37,028,093

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	10,713,843	12,106,550
売上原価	8,203,184	9,504,676
売上総利益	2,510,659	2,601,873
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	786,543	774,825
賞与引当金繰入額	133,744	159,080
退職給付費用	36,144	33,190
研究開発費	266,254	240,631
その他	1,195,205	1,202,476
販売費及び一般管理費合計	2,417,892	2,410,204
営業利益	92,766	191,668
営業外収益		
受取利息	16,151	26,376
受取配当金	38,110	32,977
為替差益	13,463	－
その他	15,266	39,936
営業外収益合計	82,990	99,290
営業外費用		
支払利息	518	722
固定資産除売却損	1,174	376
為替差損	－	4,180
その他	893	529
営業外費用合計	2,586	5,808
経常利益	173,171	285,149
特別利益		
投資有価証券売却益	－	16,154
特別利益合計	－	16,154
税金等調整前中間純利益	173,171	301,303
法人税、住民税及び事業税	22,266	33,712
法人税等調整額	26,618	72,836
法人税等合計	48,885	106,548
中間純利益	124,286	194,754
親会社株主に帰属する中間純利益	124,286	194,754

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	124,286	194,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	346,671	399,568
為替換算調整勘定	△37,464	37,956
退職給付に係る調整額	△4,503	△17,201
その他の包括利益合計	304,703	420,323
中間包括利益	428,989	615,078
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	428,989	615,078
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	173,171	301,303
減価償却費	426,728	374,667
のれん償却額	14,493	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△267,284	△218,599
受注損失引当金の増減額（△は減少）	－	46,766
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	8,390	2,135
受取利息及び受取配当金	△54,261	△59,353
支払利息	518	722
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△16,154
売上債権の増減額（△は増加）	3,211,730	3,053,979
棚卸資産の増減額（△は増加）	△50,641	254,187
仕入債務の増減額（△は減少）	△783,235	△433,652
未払金の増減額（△は減少）	△68,296	△78,097
未払消費税等の増減額（△は減少）	△128,245	△81,261
契約負債の増減額（△は減少）	39,012	△393,875
その他	△106,569	△129,066
小計	2,415,511	2,623,702
利息及び配当金の受取額	53,675	58,952
利息の支払額	△494	△682
法人税等の支払額	△148,498	△288,717
法人税等の還付額	2,737	1,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,322,930	2,394,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△114,000	△243,135
定期預金の払戻による収入	168,000	247,135
有価証券の償還による収入	－	200,000
有形固定資産の取得による支出	△619,821	△314,057
有形固定資産の売却による収入	2,260	1,134
無形固定資産の取得による支出	△14,212	△5,356
投資有価証券の取得による支出	△402,209	△1,889
投資有価証券の売却及び償還による収入	－	217,597
その他	△21,663	△182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,001,646	101,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,000	△28,572
リース債務の返済による支出	△22,696	△22,433
配当金の支払額	△304,431	△304,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△355,128	△355,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,332	27,778
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	936,823	2,168,279
現金及び現金同等物の期首残高	8,596,737	8,275,253
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,533,560	10,443,532

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自 2025年４月１日　至 2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,118,821	2,986,402	1,190,874	572,200	755,367	10,623,667
その他の収益	90,176	－	－	－	－	90,176
外部顧客への売上高	5,208,998	2,986,402	1,190,874	572,200	755,367	10,713,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	64,948	3,338	25,376	4,434	187,005	285,103
計	5,273,946	2,989,741	1,216,250	576,634	942,373	10,998,947
セグメント利益又は損失(△)	30,101	123,210	△104,957	15,704	23,597	87,655

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	87,655
セグメント間取引消去	5,110
中間連結損益計算書の営業利益	92,766

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自 2026年４月１日　至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	6,233,373	3,091,846	1,232,446	593,464	870,661	12,021,791
その他の収益	84,758	－	－	－	－	84,758
外部顧客への売上高	6,318,131	3,091,846	1,232,446	593,464	870,661	12,106,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	79,249	8,050	37,951	5,877	218,743	349,871
計	6,397,380	3,099,896	1,270,398	599,341	1,089,404	12,456,421
セグメント利益又は損失(△)	238,344	△121,534	83,102	△18,989	477	181,400

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	181,400
セグメント間取引消去	10,267
中間連結損益計算書の営業利益	191,668

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。